

# 令和4年度事業報告

## 1 事業の概要

新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限は緩和されてきましたが、会員の感染防止に配慮し、規模を縮小しながらも当センターの設立30周年記念式典を会員各位の協力のもと挙行することができました。

北海道内の経済は、感染症の影響により厳しい状況が続いておりましたが、個人消費や観光業は着実に改善するなど、ようやく回復基調となりました。

雇用情勢は、緩やかに持ち直しの動きがみられ、有効求人倍率は1.08倍（令和5年2月現在）と前年同月を若干上回りましたが、物価上昇が雇用に与える影響に留意する必要があります。

こうした中、就業開拓チームによる就業開拓や独自事業の創出に取り組み、会員増並びに事業拡大に努めました。

事業実績としては、前年度に比べ請負の受注額は8.3%増加し明るい兆しがみられましたが、派遣の受注額は契約数の減少により20.5%減少、登録会員数は32人減となり、依然厳しい状況が続いています。

また、経費の効率的な執行に努めるなど、財政健全化へ取り組みを進めながら、登別市の協力を得て事業の適正な運営に努めました。

以下、各部会等が実施した事業について、報告いたします。

### ◎請負・委任

区分	令和4年度	令和3年度	比較増減	対前年比
登録会員数	300人	332人	-32人	90.36%
受注件数	1,907件	1,840件	67件	103.64%
受注金額	146,506千円	135,327千円	11,179千円	108.26%

### ◎シルバー派遣

区分	令和4年度	令和3年度	比較増減	対前年比
就業延人員	1,720人・日	2,212人・日	-492人・日	77.75%
受注件数	5件	6件	-1件	83.33%
契約金額	9,386千円	11,808千円	-2,421千円	79.50%

## 2 事業の実施内容

### 【総務関係】

#### 1 各種会議の運営

センターの業務執行決定機関である理事会をはじめ、各部会、委員会を適時に開催し、事業の適正な運営を行いました。

・定時総会	令和4年5月30日(月)	14:00～	登別市民会館	中ホール
・理事会	7回		・総務部会	6回
・事業開発部会	5回		・班長会議	2回
・安全就業委員会	6回		・就業調整委員会	5回
・会報編集委員会	16回		・配分金等検討委員会	2回
・就業開拓チーム会議	9回		・設立30周年記念事業実行委員会	3回

#### 2 会員入会の促進

新規会員の加入促進を図ることは、安定的な受注確保をするうえで重要です。そのため会員、役職員が協力し合い、健康で働く意欲のある会員入会の促進に努めました。

(1) 会員と役職員で協力し合い、口コミ等による「会員ひとりが一人の加入促進」運動を引き続き実施し、会員入会の促進に努めました。

(2) 毎月2回シルバー人材センターや鷺別地区、若草地区、登別地区で入会説明会を開催しシルバー事業に対する理解と協力を得て会員入会の促進に努めました。

(3) 会員入会の促進を図るため、就業開拓の取組みと併せて、新規会員、特に、女性会員入会促進に努めました。

(4) 高齢者活躍人材確保育成事業を活用した技能講習会を開催しました。

- ・実施日：令和4年8月23日(火) 9:30～15:30
- ・場 所：クリンクルセンター
- ・内 容：剪定講習会
- ・講 師：鮫島樹木医庭園研究所 樹木医 鮫島 宗俊 氏
- ・参加者：4名

#### ◎月別入会者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男性	3	1	3	2	0	0	2	0	0	2	2	1
女性	6	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
合計	9	2	3	3	0	0	2	1	0	2	3	1
男性：16名 女性：10名 合計：26名												

#### 3 行政機関や各種団体等との連携

事業の円滑な運営のため、登別市や北海道シルバー人材センター連合会及び他市センターなど関係機関・団体との連携・情報収集に努めました。

#### 4 情報の提供

インターネットや会報の発行、並びにボランティア活動など様々な機会を通じて会員及び市民への情報の提供に努めました。

- (1)センターの事業計画書、収支計算書等について、一般の閲覧に供するなど情報公開に努めました。
- (2)ホームページの内容を随時更新し、より新しい情報発信に努めました。
- (3)会報「よろこび」を年4回発行し、会員や賛助会員等に配布しました。
- (4)市の公共施設等に、シルバー人材センターのパンフレットと会報「よろこび」を置き、広報活動に努めました。
- (5)センター事業の理解を深めてもらうために、市民との触れ合いを重きにおいた事業の開催を目指しましたが、新型コロナウイルス感染予防のため事業の開催はできませんでした。

#### 5 会員組織の充実

センターの運営状況や事業活動、各種行事等を通して役職員と事務局そして会員との意思疎通を図りました。

- (1)地区別懇談会を開催し、会員の意見要望を聴取して組織の活性化に努めました。

##### ◎実施状況

期 日	場 所	班	参加人数
令和5年2月14日	登別市民会館	1・2・3・4・5・6・7・8・9 10・11・12・13・14・15	40名
令和5年2月15日	鷺別コミュニティーセンター	16・17・18・19・20・21・22・23	37名

- (2)地域班独自の懇談会や交流会等の開催にあたっては、センターの助成制度の積極的な活用を周知し、支援に努めましたが新型コロナウイルス感染予防などから開催には至りませんでした。

- (3)会員同士の交流を図るため、各種講習会を開催しました。

##### ・家庭菜園講習会

実施日：令和4年4月22日（金） 10：00～

場 所：登別市民会館大会議室

講 師：胆振農業改良普及センター 沼田 耕作氏

参加者：28名

##### ・包丁研ぎ講習会

実施日：令和4年7月22日（金）

場 所：登別市民会館大会議室

講 師：シルバー人材センター会員 磯貝 久雄 氏

参加者：7名

#### 6 事務局の効率的な運営

事務局内における情報の共有化を図り、各種研修会等への参加によって、職員の事務処理能力の向上に努め、業務の円滑な運営と効率化の促進に努めました。

(1) 北海道シルバー人材センター連合会等の主催する各種の会議等に積極的に参加し、職員としての資質向上に努めました。

- |                      |                           |
|----------------------|---------------------------|
| ・派遣元責任者講習（2回）        | 令和4年 4月15日<br>令和4年10月27日  |
| ・令和4年度事務局長会議         | 令和4年 7月 7日                |
| ・令和4年度安全適正就業推進委員会    | 令和4年 8月25日                |
| ・令和4年度会計担当者研修会       | 令和4年 9月 8日                |
| ・令和4年度全シ協主催適正就業担当者会議 | 令和4年10月17日～<br>令和4年10月30日 |
| ・令和4年度安全適正就業推進員研修会   | 令和4年11月10日                |
| ・令和4年度インボイス制度説明会     | 令和4年12月13日                |
| ・令和4年度派遣実務担当者研修会     | 令和5年 1月19日                |
| ・令和4年度全シ協主催安全就業指導員会議 | 令和5年 1月30日～<br>令和5年 2月17日 |
| ・令和4年度理事長会議          | 令和5年 3月 1日                |

## 7 地域社会参加活動

地域社会に親しまれるシルバー人材センターを目指し、市民の理解・関心の向上のため、会員と役職員が協力し合い、ボランティア活動を実施しました。

### (1) アイラブロードへの参加

実施日：令和4年7月5日（火）10：00～

場 所：市道カルルス路線（旧労働福祉センター～陸上競技場）

内 容：植樹柵の除草・花苗の植え込み等

参加者：24名

## 8 財政基盤の強化

財政基盤の確立のため、国、市からの補助金の増額や事業拡大の要請に努めました。また、全国シルバー人材センター事業協会の要請活動と併せ登別市長に独自要請を行いました。

実施日：令和4年10月5日（水）

場 所：登別市役所

参加者：理事長、副理事長、事務局長、総務部会長、事業開発部会長

## 9 基本計画の推進

令和2年度を初年とする計画の推進を図るため、検証を行いました。

## 10 理事会の活性化

理事の資質向上に努めるとともに、理事会の活性化を図るため研修会を実施しました。

- ・令和4年度理事研修会：令和4年11月25日（金）

## 11 福利厚生事業の実施

要綱に定める福利厚生施策を実施しました。

弔慰 1件

## 12 設立30周年記念事業に向けて、実行委員会を設置し、記念式典の開催及び記念誌を発刊しました。

### ・設立記念式典

実施日：令和4年10月31日（月）13：30～

場 所：登別市民会館 中ホール

参加者：来賓・会員 81名

## 【事業開発関係】

### 1 仕事量の確保

事業の普及啓発と就業の確保・開拓に向けて就業開拓の促進に努めました。

(1)「会員一人が一就業開拓」を合言葉に、会員各自がロコミ活動により会員の就業機会の拡大に努めました。また、就業開拓推進員による市内企業、団体や賛助会員などへの訪問活動により、就業機会の拡大に努めました。

(2)労働者派遣事業の一層の推進を図るため、北海道シルバー人材センター連合会と連携・協力のもと、会員の就業機会の拡大に努めました。

(3)シルバー事業の活用と新規会員の加入促進を目的として、10月シルバーの日に大型店舗前でパンフレット等を配布する啓発活動を行いました。

実施日：令和4年11月1日（火） 10：30～11：30

参加者：27名

・イオン登別店	456部
・アーニス	209部
・コープさっぽろのぼりべつ桜木店	267部
・コープさっぽろイースト店	283部
・トライアル登別栄町店	200部
・コープさっぽろのぼりべつ東町店	113部

配布部数 合計 1,528部

(4)市広報紙にパンフレットを折込み、全戸配布し、会員の増加及び受注の拡大を図りました。

(9月号 19,500枚)

(5)生活支援サービスについて、福祉関係事業所との連携を図り、利用拡大に努めました。

(6)就業開拓チームにおいて、就業開拓のための施策作り及び推進に努めました。

### 2 就業機会の適正化

(1)会員の就業機会の公平化を図るため、可能な限り就業のローテーション化を図り、就業人員の拡大に努めました。

(2) 公共施設就業現場の実態把握、及び就業上における改善点の有無等の確認のためパトロールを実施しました。

実施日：令和4年9月20日（火）

実施施設：11ヶ所

(3) 就業経験のない仕事へのチャレンジを呼びかけるなどミスマッチの防止解消に努めました。

### 3 会員の能力向上

発注者から信頼される就業に向け、会員の技能・技術等の向上を図るため技能講習会を実施しました。

(1) 就業のために必要とする技術と技能の向上及び安全意識の高揚を図るため、技能講習会を実施しました。

- ・第1回草刈講習会

実施日：令和4年5月13日（金）

場 所：鉄南ふれあいセンター及び旧ニナルカ会館敷地

講 師：(有) 菖蒲機械 菖蒲 宏 氏

参加者：20名

- ・第2回草刈り講習会

実施日：令和4年8月19日（金）

場 所：鉄南ふれあいセンター及び旧ニナルカ会館敷地

講 師：(有) 菖蒲機械 菖蒲 宏 氏

参加者：14名

- ・第1回剪定講習会

実施日：令和4年6月7日（火）

場 所：西公園（登別市中央町3丁目）

講 師：剪定班 舞良 義昭 氏

参加者：14名

- ・第2回剪定講習会

実施日：令和4年9月27日（火）

場 所：クリンクルセンター

講 師：剪定班 舞良 義昭 氏

参加者：14名

(2) 剪定新規就業会員の初期投資負担軽減策として、脚立を期間限定で支援していますが貸与はありませんでした。

(3) 新入会員がスムーズに就業できるように、接遇研修・就業相談を実施しました。

1回目：令和4年10月18日（火） 参加者：5名

2回目：令和5年 3月14日（火） 参加者：6名

(4) 外部講師による全会員を対象とした、接遇研修を実施しました。

実施日：令和4年11月14日（月）

場 所：登別市民会館 大会議室

講師：伊藤 美奈 氏

参加者：22名

#### 4 独自事業の調査・研究・推進

独自事業について、会員の就業に適した事業の可能性を調査・研究・推進に努めました。

- (1)就業開拓チームにおいて全会員に独自事業を募集し5名から提案があり、うち2件について事業化が見込まれましたのでその推進に努めました。

## 【安全就業関係】

『令和4年度 事故防止重点実施項目』のスローガンを設定し、事故防止及び安全就業に努めました。

スローガン

《安全第一 事故ゼロを目指そう》

#### 1 安全就業の徹底と事故防止

「安全は第一であり、すべてに優先する。」を合い言葉に、無事故を目指しましたが、飛び石等による物損事故1件、就業中の傷害事故2件が発生しました。

- (1)事業執行計画(安全就業実施計画)を作成し、年間を通して安全就業の推進を図りました。
- (2)安全就業委員会において、安全就業委員及び安全対策推進員による就業シーズンの最盛期である7月から10月の繁忙期に重点実施期間を設け、安全パトロールを実施しました。

実施日：令和4年 7月21日(木)、令和4年 8月18日(木)

令和4年 9月15日(木)、令和4年10月13日(木)

場 所：市内12ヶ所

参加者：11名

- (3)ヒヤリ・ハット体験事例の報告を求め、安全意識の高揚に務めることとしましたが、体験事例の報告はありませんでした。
- (4)新規受注にあたっては、事前に発注者宅を訪問・下見を実施し、仕事の内容や就業形態等を確認してから会員に提供し会員の安全かつ適正就業の確保に努めました。
- (5)今年度から取り組んだ「草刈り作業における事故防止対策」の徹底を図りました。
- (6)事故を起こした会員には、事故報告書を提出するなど再発防止に努めました。

#### 2 安全就業普及活動の実施

- (1)会員の安全就業啓発のため、定時総会時に併せて「安全宣言大会」を実施し、事故防止の意識高揚に努めました。

実施日：令和4年5月30日(月)

- (2)「安全だより」の発行を行い、安全就業に関する意識の高揚を図りました。

(4月号、7月号、10月号、1月号)

- (3)作業中の安全意識を高めるため、新入会員にシルバー人材センター安全のしおりを、新規就業会員には安全ワッペンを配布しました。
- (4)会員に対し、「安全標語」の募集・表彰を行い全会員の安全意識の高揚を図りました。

(5)各種講習会において安全一口講話を実施し、安全意識の高揚を図りました。

### 3 会員の健康管理

(1)会員の健康管理の徹底を図るため、健康診断の受診を奨励しました。

健康診断受診者：268名 未受診者：30名

(2)登別市担当グループの協力を得て、会員の健康維持のための「健康講話」を実施しました。

実施日：令和5年1月24日（火）

場 所：鉄南ふれあいセンター 3階ホール

講 師：登別市国民健康保険グループ 保健師 澤口 真歩 氏

内 容：自宅でできる簡単な体操

参加者：21名

(3)登別市消防署の協力を得て、救命処置要領等の習得のための「救急救命講習会」を開催しました。

実施日：令和5年3月7日（火）及び9日（木）

場 所：鉄南ふれあいセンター 3階ホール

講 師：登別市消防職員

内 容：救命講習Ⅰ

参加者：20名

### 4 交通安全

交通事故防止のため、室蘭警察署の協力を得て「交通安全講話」を開催しました。また登別市と連携して地域の交通安全啓発活動に参加しました。

(1)交通安全講話

実施日：令和4年11月29日（火）

場 所：鉄南ふれあいセンター 3階ホール

講 師：室蘭警察署交通第1課企画規制第1係長 後藤 博幸 氏

内 容：高齢者の交通安全

参加者：29名

(2)交通安全啓発活動（人と旗の波街頭啓発活動）

- |                |            |          |
|----------------|------------|----------|
| ・令和4年 5月18日（水） | 鷺別小学校前     | 参加者： 5名  |
| ・令和4年 7月27日（水） | 登別市婦人センター前 | 参加者： 4名  |
| ・令和4年 8月24日（水） | 幌別小学校前     | 参加者： 4名  |
| ・令和4年10月12日（水） | イオン登別店前    | 参加者： 16名 |

### 5 情報収集

クリンクルセンター安全衛生推進会議に参加し、情報収集を行うとともに、会員の安全就業に努めました。



## 【有料職業紹介事業】

有料職業紹介事業を実施しましたが、職業紹介には至りませんでした。

### 3 事故発生状況

#### 物損事故発生状況（1件）

番号	発生実施日	性別	事故の状況
1	令和4年 10月1日（土） 9：00頃	男	登別市登別温泉町の団地内の除草作業（機械）（防護ネット使用）中、同敷地内に駐車中の軽自動車の後部ガラスを飛び石により破損させた。

#### 傷害事故発生状況（2件）

番号	発生実施日	性別	事故の状況
1	令和4年 10月12日（水） 11：00頃	男	登別市新生町の広場での木製階段の補修中、木製階段のずれ留めの杭を打ち込み中に、木杭の打ち込みが十分かを手で動かして確認しようとしたところ、打ち込みしていた掛け矢と木杭の間に右手人差し指を挟まれ、「右手人差し指開放骨折」の傷害を負った
2	令和4年 3月29日（木） 10：30頃	男	登別市幸町の個人宅の伐採作業中、電気チェーン鋸を樹上から地面に降ろし、本人が地面に降りた際に転倒して電気チェーン鋸の刃部が顔面に当たり、7針縫う裂傷を負った。